

令和4年度実証事業の結果について



①子育て応援タクシー実証実験結果報告



1. 運行概要

子育て応援タクシー実験概要

子供の習い事の送迎に関する負担軽減及び低年齢層に対する公共交通の利用促進を図るため、下記のとおり、AI配車システム（SAVS）を活用した送迎サービスの実証実験を実施。

【実証実験のねらい】

有償サービスとしてのニーズ確認

需給バランスの確認

- 運行範囲：荒尾市全域
- 日程：令和4年9月1日から9月30日まで（平日のみ）
- 時間：17:00から20:00まで
- 車両：2台
- 料金：定額200円
- 乗客：小学4年生から中学3年生まで
- 予約：アプリ「おでかけあらお」
- 利用条件：習い事が目的の移動に限る
- 運行：荒尾市タクシー協会



2. 利用状況

日別利用状況集計

日付	トリップ数 (組)	利用者数 (人)	乗合トリップ数 (組)	新規アカウント数
9/1	2	2	0	2
9/2	1	1	0	1
9/3	—	—	0	—
9/4	—	—	0	—
9/5	1	1	0	0
9/6	0	0	0	0
9/7	0	0	0	0
9/8	1	1	0	0
9/9	0	0	0	0
9/10	—	—	0	—
9/11	—	—	0	—
9/12	0	0	0	0
9/13	0	0	0	0
9/14	0	0	0	0
9/15	0	0	0	0
9/16	2	2	0	2
9/17	—	—	0	—
9/18	—	—	0	—
9/19	—	—	0	—
9/20	1	1	0	0
9/21	2	2	0	1
9/22	0	0	0	0
9/23	—	—	0	—
9/24	—	—	0	—
9/25	—	—	0	—
9/26	2	2	0	1
9/27	0	0	0	0
9/28	1	1	0	0
9/29	0	0	0	0
9/30	1	1	0	0
合計	14	14	0	7

予約確定時刻

時間帯	トリップ数
7時台	2
8時台	4
9時台	0
10時台	0
11時台	0
12時台	0
13時台	2
14時台	1
15時台	0
16時台	1
17時台	0
18時台	4
19時台	0
合計	14

乗車時刻

時間帯	トリップ数
17時台	7
18時台	4
19時台	3
合計	14

- 全般的に利用者は少数である
- 乗車時刻は17時台が最も多く、主に習い事に行く際に利用されたことが伺える。
- 予約時刻は7, 8時台及び18時台が多く、通勤前及び習い事の直前に予約されている傾向。

3. 乗降場所

乗 車

主に**自宅**から乗車されたと想定
(降車場所が習い事に設定されているため)

降 車

	降車場所	目的	移動距離 (m)
1	荒尾市増永	塾	5,139
2	荒尾市運動公園 (陸上競技場前)	スポーツ活動	780
3	荒尾市一部	塾	5,025
4	荒尾市本井手	塾、英会話	1,974
5	荒尾市大島	ピアノ教室	6,355
6	荒尾市荒尾	スポーツ活動	841
7	運動公園管理事務所	スポーツ活動	3,887
8	荒尾市一部	塾	5,038
9	荒尾市大島	ピアノ教室	6,355
10	メディア交流館	メディア交流館	3,295
11	メディア交流館	メディア交流館	3,288
12	荒尾市増永	スポーツ活動	1,806
13	イオンタウン	イオンタウン	2,796
14	荒尾市本井手	塾、英会話	1,953
		平均	3,467

※目的は降車場所を地図で確認し推定したもの

- 全ての利用が「乗車：自宅」→「降車：習い事」であった。
- 移動距離は1km未満から5km以上まで幅広い移動があった。

4. アンケート結果まとめ

No.1.利用者アンケート

利用者に対してアプリに登録のメールにアンケート依頼（電子申請）。

利用者数： 7名 アンケート回収数： 6名

- 利用者は、全てが小学生である。
- 通常、保護者等で送迎している方が転換されたケースが大半を占める。
- 利用者の感想、利便性及びアプリ予約に関しては、全て前向きな回答であり、受容性が確認できた。
- 利用料金は8割以上の方が、「とても安い」、「安い」と回答。
- 送迎の時間は8割以上の方が、「早い」、「適切」と回答され、1名が、「遅い」と回答。
- 全ての利用者が、「また使いたい」、「機会があれば使いたい」と回答。
- 本サービスが導入された場合、大半の方が、家事や仕事の時間が確保できると回答。
- 自由記述では、利用時間及び予約時間の拡大を求める声が多数。

No.2. 子育て世帯向けアンケート（主に未利用者向け）

荒尾市公式LINEに友達登録をしている子育て世帯に向け、LINEにてアンケートを実施。

登録者数： 767名 アンケート回収数： 47名

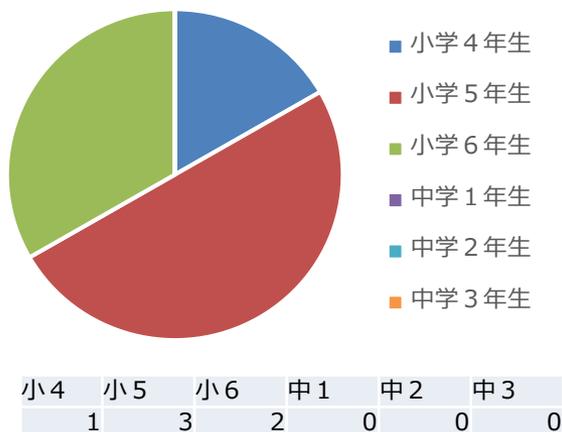
- 本実証の認知度について、8割を超える方が実証の実施を把握しているものの、利用は5%程度。
- 利用しなかった理由としては、「保護者等で送迎できる」が最も多く、次いで「子供だけの利用が不安」。
- 意見要望等では、利用時間及び予約時間の拡大、また「ドライバー」の見える化を求める声が多数。

次ページ以降アンケート結果記載

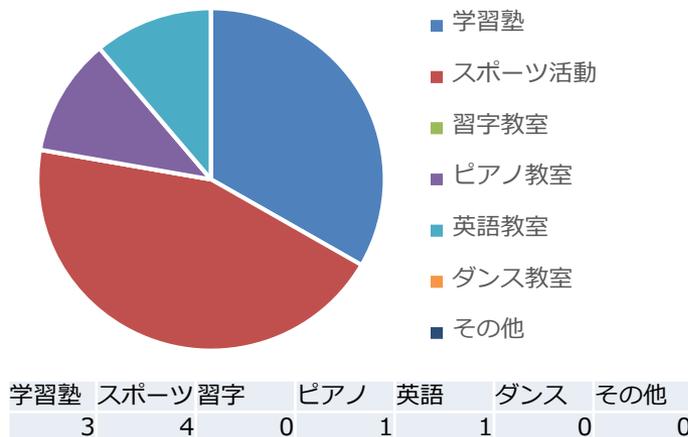
4. アンケート結果

No.1. 利用者アンケート①

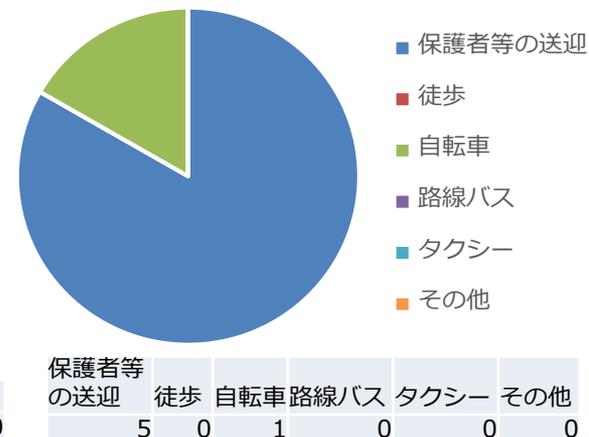
・学年



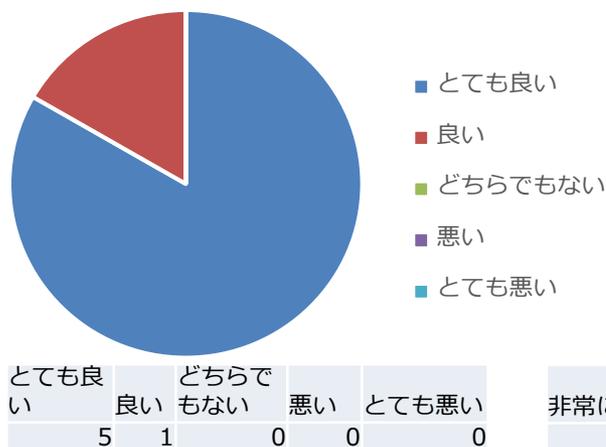
・習い事の種類



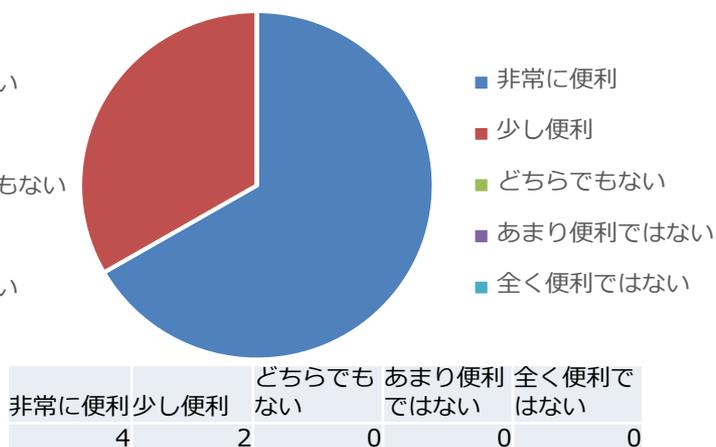
・通常の移動手段



・利用の感想



・利便性



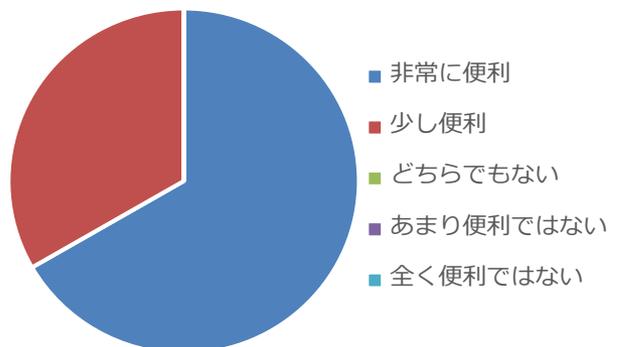
・便利ではない理由

該当なし

4. アンケート結果

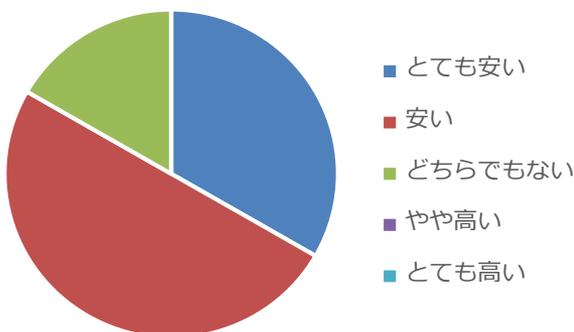
No.1 利用者アンケート②

・アプリ予約の利便性



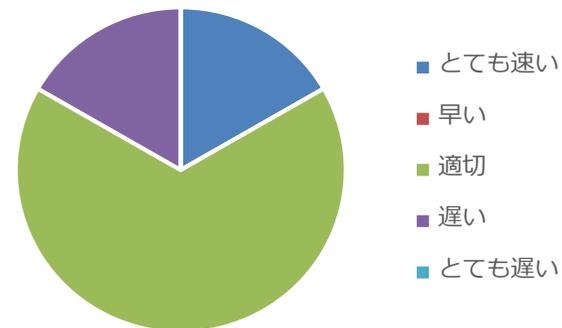
非常に便利	少し便利	どちらでもない	あまり便利ではない	全く便利ではない
4	2	0	0	0

・利用料金の妥当性



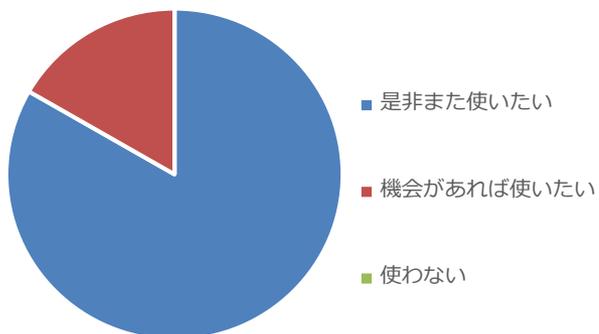
とても安い	安い	どちらでもない	やや高い	とても高い
2	3	1	0	0

・送迎の時間



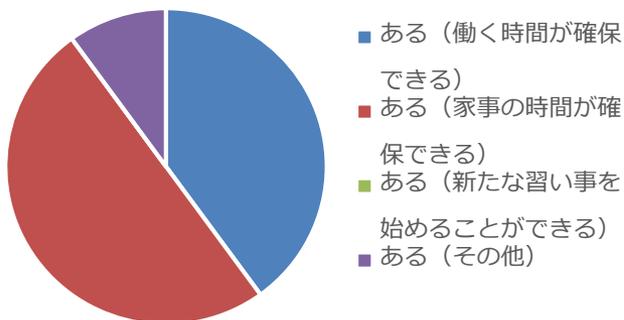
とても速い	早い	適切	遅い	とても遅い
1	0	4	1	0

・利用意向



是非また使いたい	機会があれば使いたい	使わない
5	1	0

・送迎負担の軽減による生活の変化



ある（働く時間が確保できる）	ある（家事の時間が確保できる）	ある（新たな習い事を始めることができる）	ある（その他）
4	5	0	1

4. アンケート結果

No.1. 利用者アンケート③（自由記述）

放課後から習い事している家庭が多いと思うので、**利用時間枠の見直しを要望します。**※16時以降でもいいのでは？
また、予約時の発着地点の検索、設定が非常に不便なので改善要望します。

利用したいときに、予約が取れない（ものすごい待ち時間）になるので、利用者が多いんだと実証期間に実感しました。

子どもの遊び場縮小（野球にしてもバスケにしても、気軽に遊べる環境がない）や、部活動の地域活動の移行でどんどん子どもたちが体を動かす機会が制限されてきます。そうなると、習い事で。。。となってくるのですが、**送迎ができないことでチャンスの場を失う子どもたくさんいるかと思えます。**

改善要望ばかり記載しましたが、この取り組みは素晴らしい子育て支援と思います。

沢山の意見を参考に、より良い支援になることを期待しています。

よろしく願いいたします。

親が送迎できない時は子どもに自転車で行ってもらったりしていたのですが、**防犯上心配で休んでもらった時もありました。**

子どももとても喜んでいましたし、助かりました。

ありがとうございました。

このまですつと使えれば、保護者としてもものすごく助かります!勘弁と思っています。今のところ改善ところは思いつかないです。

アプリの予約が当日しかできないので事前に数日前にできたらより便利だと思いました。

うちの子どもが利用していたら、それはどのようにしたら利用できるのかとお尋ねされたので需要はあるのかと思います。知られていないだけで。

あと2年したら中学生になるのですが、学校が統合されて学校まで距離があります。雨天時など朝は送る事ができますが、帰りは親が仕事のため、遠方歩いて帰るしかありません。その時に、タクシーが利用できれば便利です。

中学校で部活がなくなるの見込んでクラブチームへ加入しました。小学生は、校区外には自転車ではいけないのでこういったサービスがあると非常に助かります。

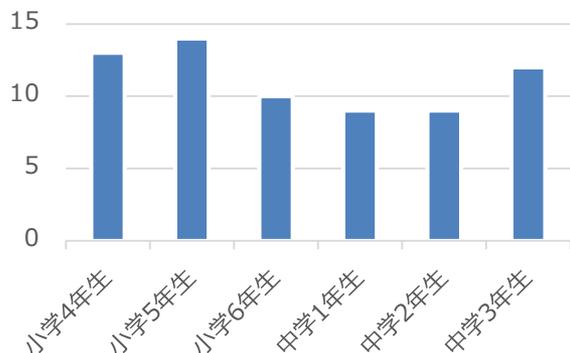
どんな運転手が来るのかが不安。子供一人で車という密室空間に預けるので、**親が安心するように運転手の紹介は必須と考えます。**男性なのか、女性なのか。子育て経験があるのかなど。物騒な事件が起こっている中、知らない人に子供を預けるのはハードルが高すぎる。GPSでタクシー位置がわかったとしても。運転技術ではなく、人として信頼できるかどうか、少しでもわかる情報を提供していただきたい。

前日に予約がとれたら良かったです

4. アンケート結果

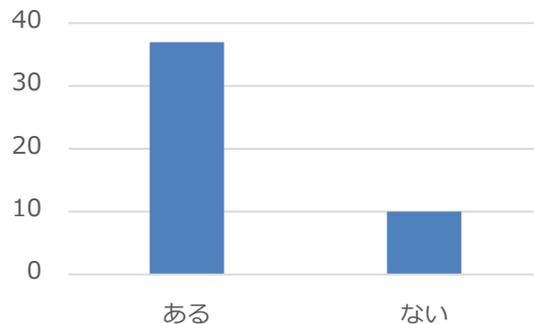
No.2. 子育て世帯アンケート①

・学年



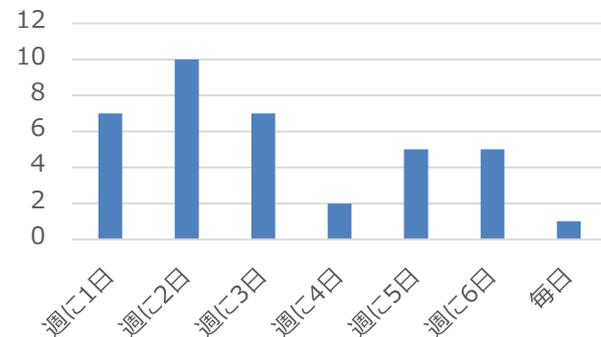
小4	小5	小6	中1	中2	中3
13	14	10	9	9	12

・送迎の有無



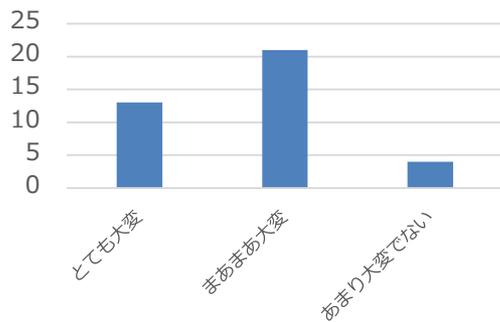
ある	ない
37	10

・送迎の頻度



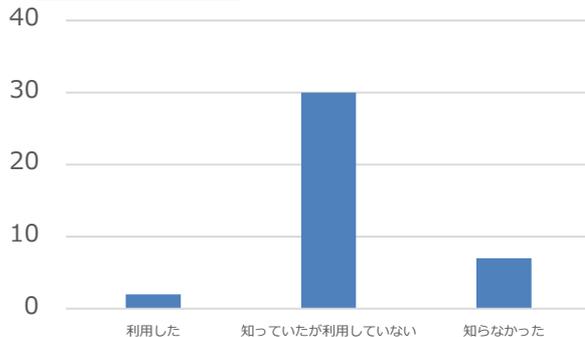
週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	毎日
7	10	7	2	5	5	1

・送迎の負担



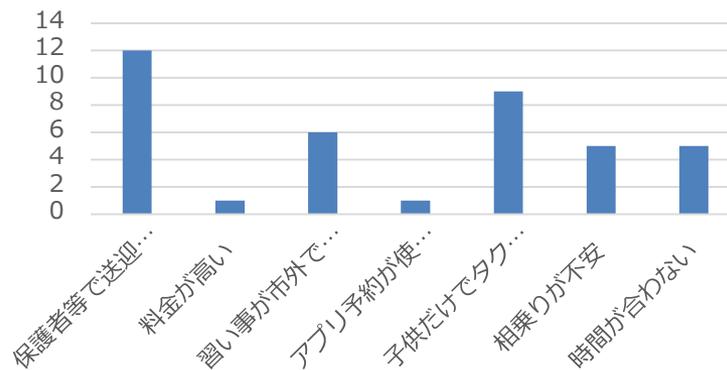
とても大変	まあまあ大変	あまり大変でない
13	21	4

・利用の有無



利用した	知っていたが利用していない	知らなかった
2	30	7

・利用しなかった理由 (その他の理由は次ページ)



保護者等で送迎できる	料金が高い	習い事が市外である	アプリ予約が使いやすい	子供だけでタクシーに乗るのが不安	相乗りが不安	時間が合わない
12	1	6	1	9	5	5

4. アンケート結果

No.2. 子育て世帯アンケート②

・利用しなかった理由（その他の理由）

本当は利用したかったが、我が家は高3、中3が同一場所に習い事に行っているため、市役所に問い合わせたが、対象の学年以外は利用ができないとのこと。1人だけしか利用ができないならばと今回の利用を見送りました。対象の学年の兄弟含むのであれば利用の幅も広がるのではと思います。

有明小校区に住んでおり自分で行ける範囲に習い事が少ないので送迎は必須です。**送迎ができなくて辞めた習い事もあった経験もあります。**下には来年小1になる子も控えているので今後このように子育て支援が充実したら嬉しいです。

小学生一年から利用したい
予約開始を前日から出来るようにしてほしい

はじめの一步が踏み出せなかった
兄弟で別の習い事なので、下の子に使いたかったので。
いざ必要という時に、子育て応援タクシーの存在を忘れてしまっていた。

当日の朝からの予約が負担になり利用しませんでした。

事故が起きたときの対応がはっきりしていない
現在は、子どもが1人で行くことも出来るようになり、他者に送迎をお願いする必要がなくなったから。

3年生と5年生なので上の子タクシー利用したところで、結局下の子は送らなければいけない。
それなら2人とも送ったほうがいい。2人とも送迎してくれるといいんですが……
あとは帰りの時間が20:30です。3番目の子供もいるので、帰りこそタクシー使いたいのに使えません。

知らなかった

試合で利用を考えたが乗り合いで集合場所に間に合うか不安

4. アンケート結果

No.2. 子育て世帯アンケート③

・ご意見ご要望（自由記述）

定期券のような仕組みがあってもいいのではないかと。

利用者の多い場所（塾のそばや市民体育館など）をいくつか決めて子どもの送迎時間帯のみ循環型の仕組みがあってもいいのでは。

すごい良い取り組みだと思います。学校より直接行く便とかあればいいと思いました。

習い事の時だけでなく病院等や学校で体調を崩した時にも使いたら良い

とても助かりました。親が送迎できない時は、子ども自身で行ける距離ではあるものの、防犯上心配でした。ありがとうございました。

金額を最高200にして従来の半額に！

開始時間が17時からや、終了時間が21時など土曜日のお昼から開始など微妙に時間が合わず利用できなかった

高学年の子よりも一年生の子をお願いしたかった。高学年になると早めに行かせたり、帰りは待ってもらったりできるが、小さい子はそれが出来ないで、すぐ送迎してくれると助かります。

習い事の他、リハビリに通院するための利用なども出来る様にしてもらえたら嬉しいと思いました！

とてもありがたいが、5時からではなく4時以降などの放課後すぐから使えると利用しやすい。

車両やドライバーの見える化が必要と思います。

期待のサービス開始でしたが、期間中に利用しないままでした。当日予約となると、仕事などでバタバタして忘れがちだったのかもしれない。是非続けてほしいサービスですので、よろしくお願いします。

学校の下校時間に迎えに行けると助かります。

前日に予約が出来て、キャンセルを当日の午前7時までに出来たり、また、当日も空き次第で午前中に予約が出来ると利用しやすいと思います。

送迎をするタクシー会社、運転手さんの情報が事前に分かると安心できます

帰りは迎えに行けばいいじゃんと思われるかもしれないが夜勤などでいけないときもあり、大体の習い事が夜9時過ぎるので10時までであれば利用したかった

今回は使用しなかったが、仕事の都合などで送迎できない場合は是非使用してみたいので、送迎サービスは継続して下さい。

あれば便利だなと思います。どうしても保護者で送迎できないときは選択肢のひとつにできるし、荒尾で子育てしたいと思う家庭も増えると思います。

年齢制限や利用時間を改善すれば利用しやすい、是非毎週利用したい！！

もっと早く始まっていたら利用していたかも。

大牟田市も対象に入れてもらいたいです。

バスと同じくらいの料金で、安全であれば利用しやすい

子供達の為にはいい事だと思うけど！何か心配です！子供達は普段タクシーには乗らないので

5. 実証実験の検証結果

【有償サービスとしてのニーズ確認】

・周知が行き届いていないことが想定されるものの、利用は全14件と極めて少ない。

※アンケート調査では、「知っていたが利用していない」が全体のうち8割以上を占める。

・アンケート調査からは、送迎ができないことで習い事をやめた、始められない等の意見があり、送迎サービスに対する潜在的なニーズは確認された。

一方、「子供だけで乗車するのが不安」、「ドライバーが分からず不安」、「相乗りが不安」等、乗車に対する心理的なハードルが高いことが確認された。

【需給バランスの確認】

・利用が少なかったことから、今回の実証では車両の供給過多であった。

・子供利用だけでは、需給バランスが保てないことが想定されるため、他の利用も含めた運行計画を検討する必要がある。

6. 今後の方針

【心理的負担の軽減】

- ・児童や保護者等を対象としたモビリティマネジメントの実施

各学校単位（PTA等）で小学生対象のモビリティマネジメントを実施し、運行内容、予約方法及び実際の利用者の声などを説明することで、心理的負担の軽減を図る。

【おもやいたクシーのサービス拡充検討】

- ・子供の利用も想定しつつ、さらにおもやいたクシーの利便性向上を図るため、利用者ニーズに合ったサービス拡充について検討する。

現行のおもやいたクシーの運行時間（8：00～17：00）の中で、子供のニーズが想定される15：00以降、また休日や長期休暇時の習い事等における利用を促しつつ、おもやいたクシーのサービス拡充を検討することで、誰もが利用しやすい公共交通網の構築を目指す

②高齢者移動活性化事業「おもやいパス」 実証実験結果報告



1. 運行概要

「おもやいパス」実験概要

免許返納を検討する方が、免許返納後の移動に対する不安感を軽減できるよう、1か月間限定でおもやいたクシーの乗り放題制度（おもやいたクシーパス）の構築に向け、実証実験を実施した。

【概要】

- ◆ 実証期間：令和4年8月1日から同年12月31日まで
- ◆ 対象者：免許返納を検討する高齢者のうち、荒尾市地域包括支援センターがモニターとして選定したもの
- ◆ パス購入費：2,000円/1か月（1回限り）

※おもやいたクシーだけではなく、路線バスの利用も体感してもらうため、産交バス無料お試し乗車券を10枚提供。

※荒尾市内の公共交通について理解できるよう、「荒尾市公共交通ガイドブック」を配付。

【実証実験のねらい】

- ◆ 本事業による免許返納促進効果の確認
→乗り放題期間終了後、アンケートを実施。
- ◆ 利用頻度の確認
→パス所有者の利用状況を確認し、おもやいたクシーの運行に与える影響や対象者拡大の可能性を確認する。

2. 利用状況

モニター数：4名 延べ利用回数：11回

利用者	性別	年齢	居住地区 (最寄りバス停)	利用回数	主な行先	路線バス 乗車券利用回数
A	男性	87	桜山地区 (桜山団地上)	1	病院	10
B	女性	88	中央地区 (山の手)	8	病院・薬局 寺院	0
C	女性	85	府本地区 (下金山)	0	—	0
D	女性	78	荒尾地区 (市屋)	2	駅	0

- モニターは、女性が多く、4名中3名が85歳以上。
- 週に2回程度の利用が見られるモニターもいる一方、自動車を保有されているためか、大半は利用回数が少ない。
- 寺院の参拝と思われる利用や、通院の利用が多数。
- 路線バス無料乗車券の利用も見られ、路線バスを主な移動手段としつつ、補完的におもやいタクシーを利用される方も存在。

3. 利用者アンケート

「おもやいパス」の利用者アンケート

氏名 ()

■おもやいパスをご利用いただき、ありがとうございます。このアンケートの結果は今後の免許返納対策事業に役立てていきますので、ご協力の程、宜しく願い致します。

問1 実証実験参加前に公共交通を定期的に利用していましたか。利用されている場合は、よく利用される公共交通を記載してください。

1. 利用していた () 2. 利用していない

問2 「おもやいタクシー」を使われた感想を教えてください。

1. とても良い 2. 良い 3. どちらでもない 4. 悪い 5. とても悪い

問3 問1で「4. 悪い」、「5. とても悪い」を選択された方にお聞きます。どのような理由で、3または4を選択されましたか。(複数回答可)

1. 予約が面倒 2. 迎車待ち時間が長い 3. 予定到着時刻から遅れる
4. 相乗りの相手が選べない 5. 遠回りになる 6. その他 ()

問4 「おもやいタクシー」をまた使いたいですか。

1. 是非また使いたい 2. 機会があれば使いたい 3. 使わない

問5 実証実験中に利用された公共交通機関を選択してください。(複数回答可)

1. おもやいタクシー 2. 路線バス 3. タクシー 4. 平井・府本地区乗合タクシー
5. JR 6. その他 ()

問6 車の代わりに公共交通を利用して生活できると思いますか。

1. できる 2. ややできる 3. どちらでもない 4. ややできない 5. できない

問7 問4で「1. できる」、「2. ややできる」を選択された方にお聞きます。利用したい公共交通を回答してください。(複数回答可)

1. おもやいタクシー 2. 路線バス 3. タクシー 4. 平井・府本地区乗合タクシー
5. JR 6. その他 ()

問8 今回、公共交通を利用させて頂いて、今後、免許返納しようと思いませんか。

1. 既に免許を返納した 2. 近いうちに返納する予定 3. 検討中
4. 返納はしないうちに運転はしない 5. やや返納できないと思う 6. 絶対に返納できない

問9 どのような施策があれば免許返納したいと思いませんか。(複数回答可)

1. 公共交通の割引 2. 路線バスの充実 3. おもやいタクシーのサービス拡充
4. その他 () 5. 絶対に返納できない

問10 「公共交通」について、ご意見があればお聞かせください。

アンケート回答者：4名
対面もしくは電話にて聞き取り調査

問1 全員が「利用していない」

問2 利用した3名全員が「良い」

問4 「是非また使いたい」2名、「機会があれば使いたい」2名

問5 3名がおもやいタクシーを利用、1名が路線バスを利用

問6 「できる」が1名、「ややできる」が2名、「どちらでもない」が1名

問7 「おもやいタクシー及び路線バス」が2名、「路線バス」が1名

問8 「既に返納した」が1名、「近いうちに返納予定」が2名、「検討中」が1名

問9 「おもやいタクシーのサービス拡充」が3名、「路線バスの充実」が1名

問10 自由記述は以下のとおり

- おもやいタクシーを18時まで運行してほしい
- 行きは使いやすいが、帰りは時間が読めないため待ち時間が長くなる。
- 携帯を持っていないため、帰りの予約ができない。
- バスの便数を増やしてほしい。
- バスの段差が苦痛なため、ノーステップバスを導入してほしい。
- 通院、買い物は全て市外の施設を利用しているため、現時点では、おもやいタクシーを利用できなかった。
- 駅から帰る際に、予約しようとしたが17時以降であったため、利用できなかった。

4. 実証実験の検証

当初はモニター数10名程度を想定していたが、新型コロナウイルスの影響で、募集期間を短縮したこともあり、4名が参加。

検証に十分なサンプル数ではないが、以下の通り本実証実験の検証を行う。

【免許返納促進効果の確認】

4名中3名が免許の返納意向あり。（実証前は全員、公共交通の未利用者）

モニターA おもやりバス購入と同時に返納済

→免許返納後、買い物は徒歩、通院は送迎サービスを利用。ゆめタウンシティモールに出かける際に、初めて路線バスで出かけた。（乗車券10枚利用）今後も路線バスを利用したい。市民病院に通院する際は、正面玄関前まで利用できるおもやりタクシーを利用したい。

モニターB 数カ月後の車検の前に、返納予定

→通院をはじめ、移動の大半はおもやりタクシーを利用したい。買い物は荷物が重いため、シニアカーで近所のスーパーに移動する予定。足腰が弱いため、路線バス利用は困難。

モニターC 年内に返納予定

→現在、買い物、通院はほとんどが市外。免許返納後は行動パターンを見直し、市内で済ませる予定。その際は、おもやりタクシーをメインで利用し、行先次第では路線バスを利用したい。

モニターD 検討中

→身内を介護しており、介助しながら2人で移動することが多いため、現時点では自動車が必要である。一方、高齢者事故が相次いでいることを踏まえると2年後の80歳の節目での免許返納を検討。今後、駅まで移動する際はおもやりタクシーを利用したい。

免許返納促進及び公共交通への利用転換に一定の効果が見られる。

また、おもやりタクシーだけではなく、路線バスやタクシーも含めて交通モード間の相互利用が期待できる結果となった。

5. 実証実験の検証と今後の方針

【利用頻度の確認】

- 最大で週に2回程度の利用。（計8回利用で本来の運賃は5,000円）
- 大半が自動車を保有していることもあり、4名中3名は月に0~2回の利用にとどまる。

免許保有者の場合、乗り放題制度であっても通常のおもやいタクシーの運行に支障を及ぼすほどの利用は見られなかった。
また、4名中3名は本来の運賃額と比較して、「おもやいパス」の購入金額2,000円の方が高くなっている。

今後の方針

一定の成果は得られたものの、サンプル数が少なく、乗り放題制度の課題も見られたため、対象者の拡大及び乗り放題制度の見直し、さらには他の交通モードの利用提案も含めて、
次年度に再度実証実験を行う。